

学会ニュース

目次

- ・ 第43回大会について 1
- ・ Penelope J Corfield国際18世紀学会会長による抗議声明連帯メッセージ 2
- ・ 事務局より 4

第43回大会について

来年度の第43回大会は、2021年6月26日(土)、27日(日)に開催します。新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、関西大学での実地開催はとりやめ、オンライン (Zoom) 形式を採用します。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。開催校責任者は安武真隆会員と中澤信彦会員です。実地開催はとりやめますが、開催校責任者のお二方はさまざまな準備をしてくださいました。そこで開催校という概念は維持して、開会挨拶などをしていただく予定です。

共通論題について

本大会では「18世紀の知と制度：大学、アカデミー、その他の〈知〉の制度史」（仮題）をテーマにした共通論題が開催される予定です。コーディネーターは隠岐さや香会員です。

自由論題公募要領

第43回大会で発表を希望される会員は、1000字以内の発表要旨をつけて、2021年2月28日(日)までに学会事務局宛、メールか郵便でお申し込みください（連絡先は学会ニュース末尾に記載されています）。なるべくメールをお願いします。メールの場合は、要旨を添付ファイル（「ワード」形式）またはメール本文にコピーしてお送りください。郵送の場合は要旨のプリントアウト原稿および電子ファイル（「ワード」形式で作成されたもの）の両方をお送りください。報告の採用の可否は幹事会で審査し、事務局から後日お知らせいたします。

発表は1件につき50分、うち報告が40分、質疑応答が10分の予定ですが、申込者が多数の場合は、個々の発表の時間を短縮したり、あるいはこれまでの発表の有無、共通論題を含む諸分野のバランスなどを勘案して、幹事会で調整させていただいたりすることもありますので、この点はあらかじめご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

詳細はプログラムが決定され次第、事務局から個々に連絡申し上げます。

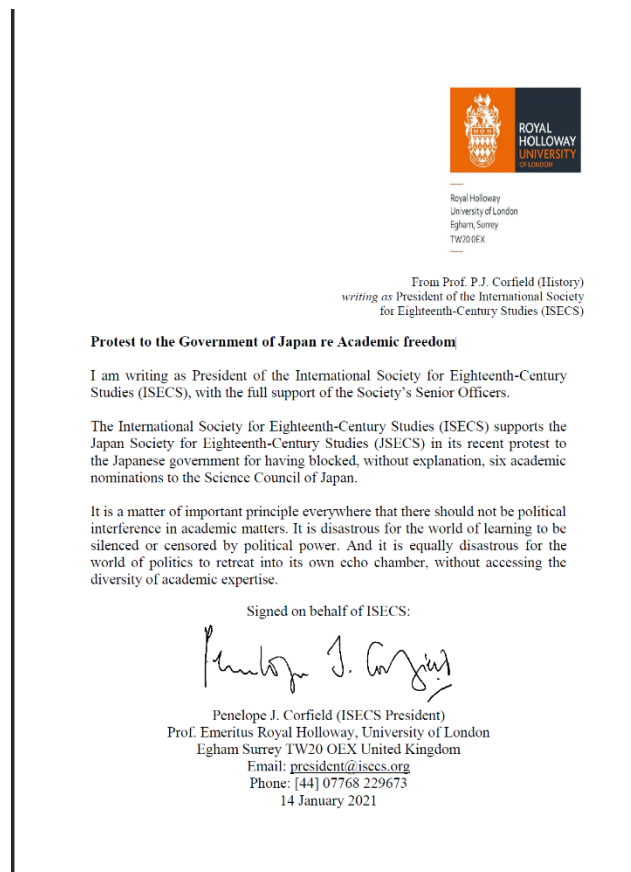
Penelope J Corfield国際18世紀学会会長による抗議声明連帯メッセージ

代表幹事 逸見 龍生

日本学術会議推薦会員候補に対する任命拒否に関し、日本18世紀学会はこれまで、代表幹事として抗議声明を公開し（10月7日）、「日本学術会議第25期推薦会員任命拒否に関する人文・社会科学系学協会共同声明」に、他の104学協会とともに幹事会として加わり（11月6日）、「日本18世紀学会・代表幹事経験者有志」七名が連名でこれらふたつの声明に対するご支持をお寄せくださっています（11月14日）。

その後、日本文学・社会科学学協会連合による共同英文声明に当学会も参加する形で12月2日、“Release of a Joint Statement to Protect the Independence of the Science Council of Japan”を幹事会の名前で発出しました。これらはいずれも当学会HPに掲載を済ませています。

このたび、国際18世紀学会会長、P.J. Corfieldロンドン大学ロイヤル・ホロウェイ校名誉教授より、私どもの抗議への連帯の書簡をお送りいただきましたので報告いたします。以下、同書簡“Protest to the Government of Japan re Academic freedom”の画像を掲載します。



学問の自由を阻害し、その多様性に政治が干渉してはならない。それは世界のどこであろうとも尊重されなければならない、いわばかけがえのない原則である、と書いていらっしゃると思います。そのような体制は、必ずやいつか学びの世界から論議そのものを無用とってしまう社会を招来するのだと。英国史と史学史を専門とする歴史家であるCorfield国際18世紀学会会長に寄せていただいたこの言葉の重みを量りつつ、あらためてのわれわれ自身の責任を自覚するべき時が来た、と私は考えています。将来の世代の学術界への責任と、そしてそれを包摂する将来の市民社会への。会員の皆さまの声もぜひ学会にお聞かせいただければ幸いです。



事務局より

会員種別の導入とこれに伴う年会費の変更について

2020年度より、会員種別が導入され、年会費が変更されております。

通常のA会員の他に、次世代支援のため、学生または常勤職をもたない方達を対象とするB会員を設けました。従来の一律5,000円であった年会費にかえて、A会員は6,000円を、B会員は3,000円を、それぞれの年会費として毎年所定の期日までに納入して頂くことになります。

会員種別および変更後の年会費は、『年報』末尾および学会ウェブサイトの会則最新版で既に改正後のもの（会則第5条）を掲載しております。年会費について証明をご希望の方は、『年報』または学会ウェブサイトの「日本18世紀学会会則」を印刷してご利用ください。

業績アンケートについて

『年報』に会員の業績を掲載するために、例年この時期にアンケートを行っています。同封の用紙の要領に従って、回答をお願いします。ウェブでもご回答いただけますので、ぜひご活用ください。締め切りは2021年3月1日(月)です。データの整理のため、早めにお返事いただければ幸いです。（3月刊行分は予定でもかまいません。また、次年度号に掲載していただくこともできます。）

<https://forms.gle/QJQu2JuRCWkeQZ2t9>

日本18世紀学会役員選挙について

当学会では、2年ごとに役員選挙が行われており、2021年はその年に当たります。同封の投票用紙、封筒を使って投票してください。要領は別紙をご参照ください。投票締め切りは2021年3月1日(月)です。なお、役員選挙用の封筒にほかの書類（業績リスト等）を入れないでください。

日本18世紀学会会員名簿について

2021年は名簿作成の年度に当たります。同封のデータ確認カードに間違いや変更がないかどうか、ご確認ください。記入済みカードを郵送していただくか、以下のウェブ上のフォームに入力いただくか、いずれかの方法により、3月1日(月)までに事務局に連絡をお願いします。フォームへのリンクは、メーリングリストでも案内いたします。

<https://forms.gle/wsJvd1UF93SkLVUu7>

名簿の記載事項は「氏名、住所、電話番号、Eメール、所属機関、所属学会、研究テーマ」のみですが、名簿管理の都合上、会員の種別や生年月日（役員選挙の被選挙権者名簿作成のために必要です）を確認させていただきます。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお間違いや変更がない場合も、その旨を事務局にご連絡ください。

メールアドレスご登録のお願いとメーリングリストのご案内

日本18世紀学会では、会員の皆様のメールアドレス登録を進めています。それに基づくメーリングリストを介して、学会や研究会のお知らせなどをメールによって会員の方々に迅速にお知らせすることができています。2020年度に引き続き2021年度の大会もオンラインでの開催となるため、実施方法の周知にはメーリングリストを利用します。メールアドレスをまだ登録されていない方や、アドレスに変更のある方は、今回の名簿改定にあわせて事務局までご一報ください。

また、日本18世紀学会の全会員は同時に国際18世紀学会に所属するため、日本18世紀学会に登録されたメールアドレスは同時に国際学会にも登録されます。国際学会へのメールアドレス登録を希望さ

れない会員は、今回の名簿データ確認の際にお申し出ください。

国際学会にメールアドレスが登録されますと、国際学会からの重要な連絡を直接受け取ることができます。この登録にともない、各会員にはIDとパスワードが送られます。これを用いると、国際18世紀学会のサイトSIEDS-DIRECTに登録される会員情報にアクセスし、それを修正することができます。

(基本的に個人情報是非公開となっておりますので、希望する会員のみ、SIEDS-DIRECT上で「公開」を選択していただくこととなります。) 数年おきの国際学会の役員選挙の際も、このIDとパスワードがあれば、郵送によってではなく、インターネットを通して投票することができます。

国際学会のメール登録一般と個人情報の公開の可否について不明なところがある場合は、日本18世紀学会事務局 (jsecs18@gmail.com) もしくは直接に国際学会ウェブサイト担当者 (Nelson Guilbert氏 : admin@isecs.org) に問い合わせてください。

『年報』への論文投稿について

すでにご存じと思いますが、大会での発表をもとにしたもの以外の論文も投稿できます。詳しくは『年報』または学会ウェブサイト記載の投稿規程をご覧ください。

投書欄について

この「学会ニュース」に投書をしていただくこともできます。たとえば以下のような内容の投書が可能です。

- ・ 学会や事務局への意見、提案、希望など。
- ・ 掲示板：研究会の呼びかけ、行事の広告、情報提供の依頼（たとえば「『〇〇』という本を探しています」など）。会員同士の連絡にご利用ください。

いずれも事務局までお申込み下さい。

チラシや案内文書を「学会ニュース」に同封することも可能です。年3回の発行なので緊急の案内には適しませんが、全会員にお届けできます。(経費等の都合上、枚数の少ないものに限ります。)

共通論題のテーマ、および書評対象図書

会員からの提案を随時受け付けています。事務局または担当幹事まで。(ただし、共通論題のテーマ決定に際しては開催校の希望が優先されるので、必ずしもすぐにご提案が実現するとは限りませんが、事務局から開催校や幹事会に伝達します。)

当学会は学際的な学会であるため、会員の研究が広範囲に及び、担当幹事だけでは各分野の重要文献の情報を集めるのが困難です。書評で取り上げるに値すると思われる図書がある場合、事務局までお知らせください。(特にご自分の専門分野が当学会で十分に扱われていないと思われる方は、積極的にご推薦ください。)

学会ニュースのエッセー

今のところ、事務局から執筆をお願いしていますが、会員の皆さんからの希望も受け付けています。執筆を希望される方は事務局までお知らせください。(編集の都合上、1月号は11月初めまでに、4月号は2月初めまでに、9月号は7月半ば頃までにご希望をお寄せください。)

寄付のお願い

寄付を希望される方は、別紙要領をご覧ください。

献本

学会宛に以下の図書をいただきました。お礼申し上げます。

- ・ 『シモーヌ』VOL.3（特集：オランプ・ドゥ・グージュ）（2020年11月、現代書館）

新入会員の方へ

毎年6月の幹事会で入会を承認された方はその年度からの会員となります。6月の幹事会以降に入会を申し込まれた方は12月の幹事会で承認され次年度からの会員扱いになりますので、会費の請求はありませんが、他の会員同様に諸種の配布物をお届けいたします。

新会員の勧誘のお願い

ぜひ18世紀研究に関心のある方を本会にご勧誘ください。よろしくお願いいたします。

幹事会メンバー（50音順）：出羽尚（年報編集）、岩佐愛（ウェブ／広報）、王寺賢太（大会）、大石和欣（大会）、隠岐さや香（国際執行委員会派遣委員）、金沢文緒（ウェブ／広報）、川島慶子（ダイバーシティ）、小関武史（事務局長、会計）、斉藤涉（年報編集）、坂本貴志（年報編集委員長）、武田将明（年報編集）、玉田敦子（国際執行委員会幹事）、鳥山祐介（年報編集）、馬場朗（総務）、逸見龍生（代表幹事）

会計監査：川村文重

事務局委員：飯田賢穂、伊藤綾、淵田仁、高橋駿仁

日本18世紀学会ニュース 第95号 2021年1月発行

発行者 日本18世紀学会 代表者 逸見龍生

事務局 〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院言語社会研究科 小関武史研究室 日本18世紀学会事務局

e-mail: jsecs18@gmail.com

tel: 042-580-9035

<https://www.jsecs.jp/>